

LA-11DAR



LA-11DARはアルミフレームに取り付け可能な垂直多関節モニターアームです。
取り付けはフレーム上面にのみ取り付けが可能です、M6は2点もしくは4点、M8は2点で固定します。

アーム根元の関節は30度ずつ固定式で①のノブを引いている間だけ可動します。先端部分は②が左右、③の関節が上下にそれぞれ180度可動します。
※モニターの取り付け、関節の調整方法は次ページをご確認ください

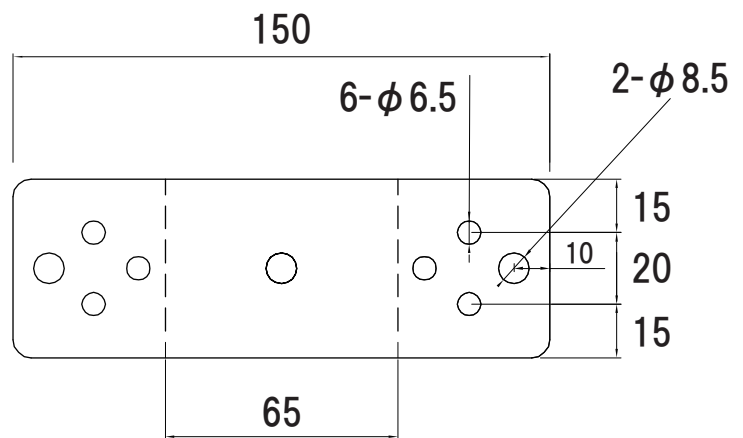


取付例



※2溝フレームM6低頭ネジ4点止め

固定部プレート形状



レール取り付け用付属品

M6スリムヘッド（低頭）ネジ × 4

M8キャップボルト × 2

※アルミフレームへの取り付けナットは別途お求めください。
※アルミフレーム以外の場所への取り付けに関しては対応いたしませんので予めご了承ください。
※フレーム側面への設置には対応いたしません、水平方向の上面にのみ設置してください、側面への固定には同型のLA-12AR-H、もしくはLA-12AR-Vをご検討ください。
※耐荷重は一般的なPC用モニターの設置を前提としております、原則としてVESA取り付け部と重心が画面中心にあること、厚さ55mm以内のモニターを想定した物となります。

株式会社ウィンテクノ
HP: <http://www.wintechno.co.jp/>

MAIL: wininfo@wintechno.co.jp
TEL: 03-5818-0751 (代)

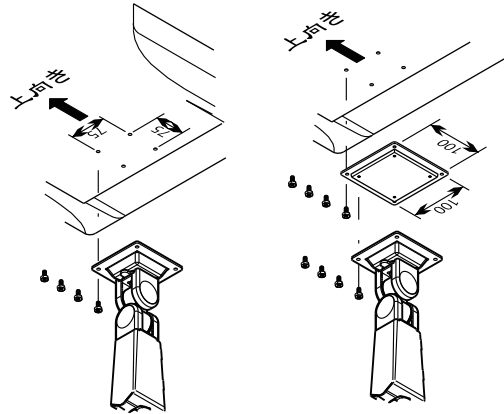
LA-11DAR組立ガイド

チェックリスト

- モニターアーム ×1
- VESAアダプター (VESA100mm×100mmプレート) ×1
- M4 ×10mmネジ ×8
- スパナ ×1
- レール取付用付属品
- M6×15mm スリムヘッド低頭ネジ ×4
- M8×15mmキャップボルト ×2

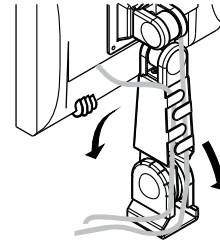
モニターの取り付け

- ・VESA75 mm×75mm
付属のM4ネジ4本でモニター背面に取り付けます。
- ・VESA100mm×100mm
付属のM4ネジで100mm変換プレートをアームに固定してください、完了後アームをモニター背面に同じM4ネジで固定してください。

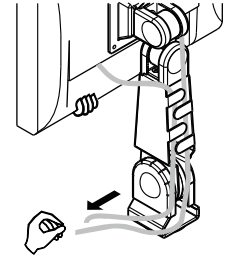


アームの角度調整について

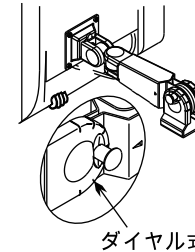
A:アームを動かす際は必ずモニターを支えながら上下に動かして下さい。



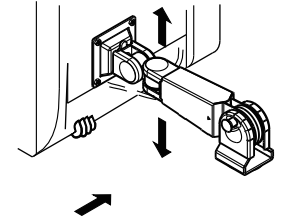
B:ノブを引いてダイヤルに固定しているか確認してください。



C:ダイヤルは垂直から前後に30度ずつ調整することができます。

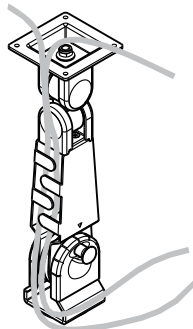


D:アームを上下に動かしてノブがダイヤルに固定されているか確認してから手を放して下さい。

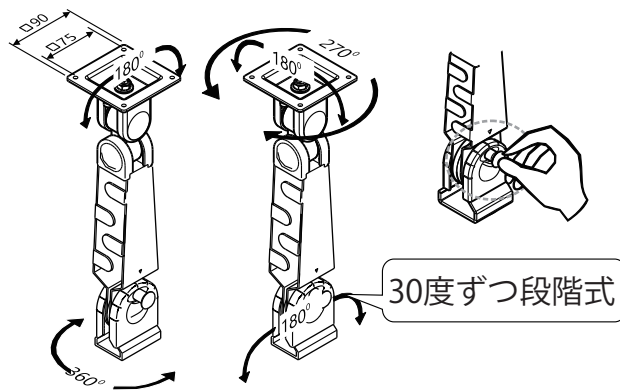


アームの下面にはシンプルなケーブル収納を有しており、モニターのケーブルをきれいに収納することが可能です。

製品の耐荷重は6kgまでです。

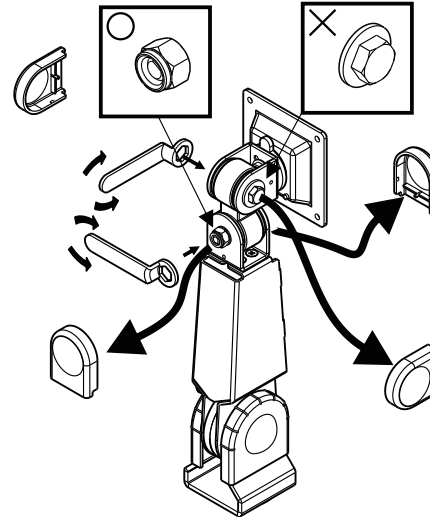


アームの可動範囲



モニター取付の際に下記手順をご確認下さい
 1:アーム付け根のノブがスロットにしっかり固定されていることをご確認下さい。
 A:アームが動かない状態かどうか
 B:ノブを引っ張った後元に戻るかどうか

関節の調整



関節の調整 (左図参照)
 モニターの取り付けを行う際、モニターの重さにより関節部の調整が必要になります。
 調整によりご希望の固さにする事で、アームを動かしやすくすることが可能です。
 A:プラスチックカバーを外します。
 B:付属のスパナでナットの締め具合を調整します。
 C:モニターを支えながらナットを調整します。
 右に回し締め込むことで重いモニターに対応し
 左に回すことで軽量のモニターに合わせて関節を動かしやすくします。
 D:調整が完了しましたらプラスチックカバーを戻します。

注意事項
 ・調整中はモニターを支えてください。
 ・ナット側を回して調整を行ってください (Loosen/Tightenの表示があります)。
 ・ボルト側は調整できません、回した場合破損することがあります。
 ・商品は解体しないでください。

・モニターの厚さが55mm以上ある場合、耐荷重の設定値が下がります。
 ・モニターはVESAの中心に取り付けてください。
 ・調整時は付属のスパナを使用してください。

LA-11DAR